

四国インターハイ陸上男子三段跳び

吉田(富岡東)に栄冠

県勢初、5本目で逆転

四国4県を舞台に行われている全国高校総合体育大会(インターハイ)第15日は6日、鳴門市の鳴門ポカリスエットスタジアムで陸上が行われ、男子三段跳びの吉田康晟

(富岡東)が15メートル96(追い風参考)を跳んで優勝した。同種目を徳島県勢が制するのは初めて。吉田は予選の1本目で15メートル19を跳び、通過標準記録(14メートル70)をクリア。

全体2位で15人による決勝に進んだ。決勝は1本目に15メートル49(追い風参考)をマークし、2本目に15メートル77を跳んだ宮尾真仁(京都・洛南)を追う展開に。4本目に吉田が15

メートル60(追い風参考)に記録を伸ばすと、宮尾は15メートル83(同)を跳んで上回った。5本目に吉田は15メートル96をマークし、鮮やかな逆転優勝を果たした。



男子三段跳び

15メートル96で優勝した富岡東の吉田。鳴門ポカリスエットスタジアム